

鉢盛山より大きな心で 瞳かがやく あさひっこ
～笑顔あふれる学校 かかわりながら～

1月29日(水)高学年、2月5日(水)低学年のスキー教室が行われました



♪全校で取り組むスキー教室。村からも費用的に大きな支援をいただき、村バスも大いに活用させてもらい、スキー場ではインストラクターも増員しての手厚い指導…こんなに恵まれたスキー教室が行える学校はそうはありません。

♪健康管理や持ち物の準備ではお家の皆様にお世話になりました。たくさんの方々に感謝して、今年もたくさん上達できたスキー教室でした。



子どもとネット～上手な付き合い方

♪家庭でスマホ・PC、ゲーム、SNSを利用する児童・生徒の利用時間と学力や学習意欲の向上の相関関係を調べた資料があります。利用時間が0時間、1時間以内、2時間以内、3時間以内、それ以上(平日)...

小中学生にとって平日2時間以上ゲームやSNSに時間を費やしてしまう生活状態は危険です。現在ネット依存が疑われる小学生は16%、中学生は24%であると、1月に行った高学年対象のネットモラル教室で塩尻市ICT主事の島津先生は子どもたちに警鐘を鳴らしてくださいました。言うまでも無く生活リズムの崩れや、脳への影響、ネット内でのトラブル(お金・友だち)...楽しくて面白くて便利だけれどリスクが大きいことも事実です。現代人にとって刺激があり可能性を高めてくれる道具であることは確かですが、大事なものは成熟していない子どもたちは、思考力や判断力が未熟であるという点です。ある程度自己責任が負える年齢であったり、社会的な経験がある大人とは違います。早熟でスキ

ルも長けているからといっても、「まだまだ心身ともに発展途上の小中学生の子どもたち」であることを私たち大人は忘れてはいけません。「子どもの自主性に任せて好きに使っていい」そんな代物ではなくなっているのが子どもを取り巻く現代のネット時代です。

冒頭に紹介した資料、一番相関関係が高かったのは『1時間以内』だったそうです。そうなんです。今の世の中こんな危険性の高い道具は子どもたちは使わせない!ではなく、上手に付き合っていくことが大事だということです。つまり『1時間以内』で手放せる自律力、使うルールを自己管理できる力、自らの生活をネットに支配されない強さ、そんな子どもたちに有効な道具であるということです。

【ネット利用に関して家庭でルールが決まっている】本校は8割以上がYESの回答でした。(高学年)自分で掲げたルールを自分の意思で守れたことを賞賛してあげてください。この繰り返しで子どもの自律力への価値付けにもなり、自信にもつながります。

今後も家庭で、学校で、子どもとネットの上手な付き合い方を一緒に考えていけたら効果的だと思います。春休みも近づき、ネット環境と近くなる機会も増えると思います。家庭でも定期的に子どもと一緒に“上手に付き合っていく”という視点で話し合ってみてはいかがでしょうか。



11日(火)	ありがとう集会
14日(金)	地区子ども会
17日(月)	3学期終業式 前日準備・練習
18日(火)	卒業証書授与式 離任式
19日(水)	■年度末休み～31日
27日(木)	新年度準備登校(新5・6年生)